

進路だより

令和8年4月28日

1. 4月の進路意識調査を終えて

先週、進路意識調査を提出してもらいました。提出日を意識し、保護者の方とコミュニケーションを取りながら記入、提出をすることはできたでしょうか。今後も、提出期限が決められている書類がたくさん出てきます。進路に関わるものだけでなく、日常の提出物等から「『締切に提出が完了している』状態にするためには、前段階として何をしなければいけないか」と考え、見通しをもつことが大切です。少しずつ習慣付けていきましょう。

今回の意識調査では、現在、皆さんが進路について感じていることを書いてもらいました。

【皆さんの悩みや不安として上がった声の例】

- ・まだ知らない情報がたくさんありそう。いろいろ調べてみたい。実際の高校を見に行きたい。
- ・高校卒業後の自分が想像できない……。
- ・将来を想像できないから、何を勉強すればいいのかわからず焦っている。
- ・進路について今まで見て見ぬふりをしていたけど、これを機会に考えを変えてみようと思った。
- ・今より実力を伸ばしていくには、どのくらいの学習量が必要で、どのような学習方法がよいのか。
- ・どんな基準で高校を選べばいいのかわからず不安です。
- ・専修学校など知らない言葉が進路学活でできたため、進路についてこれからよく調べるべきだと感じた。

前向きな声も見られましたが、心配な思いを率直につづっている人もいました。誰にとっても初めての高校受験ですから、先のことが見えず、不安に思うことは当然です。進路意識調査や教育相談だけでなく、普段から様々な場面で相談を重ね、少しずつ見通しをもてるようになってほしいと思います。そのために、これからの中学校生活の中で皆さんに大切にしてほしいことは、次の2点です。



①日々の基本的なことにしっかり取り組むこと

日々の生活の中で、自分がすべきことにしっかり向き合い、どうしないといけないか考えたり、計画を立てたりする習慣が「大切な場面」でも発揮され、1年後、そして将来へつながっていくはずで、修学旅行で見たそれぞれの課題も、きっと日常の取組の姿勢が関係しているのではないのでしょうか。時間に対する意識、物や人へのかかわり方、ゆとりと緊張のバランス調整、やりたいこととやるべきことの切り替え……。自分の課題に向き合い、進路実現に向けて少しずつ努力を積み重ねていきましょう。

②自ら情報を集めること

例えば、あなたが来月から小樽で一人暮らしをすることになったとしたら、何をしますか？当然ながら、まず住む場所を探しますね。そのときに、「検索エンジンで『小樽 一人暮らし 部屋』と検索し、一番初めに出てきた不動産会社のホームページだけを見て、そこに掲載されたいいくつかの物件の中から借りる物件を即決する。」という方法にする人は…あまり、いませんよね？色々な不動産会社のホームページを探し、たくさん物件の情報を集めて、自分がどんな生活をしたか考えて、それぞれの部屋を比べてよさそうな部屋を選び、保護者の方とも相談して、一人暮らしをしたことのある人にもアドバイスを求め、ある程度候補が定まってきたら小樽に行って実際にその物件を直接見て、物件の近くにある施設も確認して、最寄り駅から歩いてみて……。

進学先を考えることも同様です。来年の4月からの自分の生活に直結する大事な選択だからこそ、どんどん情報収集することが大切です。たくさん情報を集めることが不安を晴らし、実際に見て聞いて、肌で感じてくることが選ぶときの決め手になります。水飲み場前の進路情報コーナーにあるポスターや過去の受験情報誌を見たり、各上級学校のチラシが配られたらその学校について検索したりしてみましょう。

進路意識調査にあった、全体で共有しておきたい質問と返答

Q1 公立高校に家庭から問い合わせをしても良いですか？

A1 公立高校の場合は、家庭から**公立高校に直接連絡は御遠慮ください**。公立高校への連絡や問い合わせは、中学校を通して行うことになります。なお、説明会や文化祭などで「受験生（と保護者）向けの質問コーナー」を用意してくれている高校もあります。そこに参加すると細かな情報を直接質問して確認できるはずです。

Q2 私立高校に家庭から問い合わせをしても良いですか？

A2 私立高校の場合は、家庭から直接連絡しても問題ありません。ただし、何度も連絡すると高校側に迷惑になってしまいます。公立高校と同様に、**説明会などに参加し高校の先生に直接質問することをおすすめします**。

Q3 高校の説明会やオープンキャンパスの案内は中学校から教えてもらえますか？

A3 高校から「生徒・保護者の皆様にお伝えください」と周知の依頼があったものは進路だよりを通してお伝えします。高校からチラシや案内が届いた場合は、それを短学活で配布します。ポスターなどが届いた場合は、後述の進路コーナーに掲示します。なお昨年度は、中学校に周知の依頼があった説明会・オープンキャンパスなどについては、ほとんどの場合高校のホームページでも周知されていました。**気になる高校がある場合は、こまめに公式ホームページをチェックしてください**。

Q4 説明会やオープンキャンパスは、中学校を通さず申し込んでよいのですか？

A4 「中学校を通して申し込むこと」という**指定がなければ、生徒・保護者の皆様が御自身で申し込み手続きをして問題ありません**。昨年度は、ほとんどの高校が「生徒・保護者がQRコードを読み込みGoogleフォームで申し込む」という形式でした。

Q5 ●●高校に進学したいと考えているが、合格できる可能性はありますか？

A5 現時点の情報で、可否の可能性を考える場合は、次のようになります。

①1年学年末評定、2年学年末評定を使い、**仮のランク**を出してみる。

②昨年度の受験情報誌（北海道新聞社の「道新受験情報」、道コンの「高校ガイドブック」など）の**合格ライン**を見て、**仮のランク**が**合格ライン**に入っているかチェックする。

※**仮のランク**の出し方、**合格ライン**の見方が分からない場合は、生徒の皆さんが小笠原先生に直接聞きに来てください。

なお、仮のランクも受験情報誌の合格ラインも、今後変動する可能性があります。また、受験情報誌の情報はあくまで「出版社が得られた情報から出した予想」になります。あくまで**現時点で得られる参考情報**とお考えください。

Q6 今後、進路だより以外にどんな資料がもらえますか？

A6 以下の資料が1学期中に配付される予定です。

①「**進路のしおり**」（札幌市中学校進路指導協議会）

→道内の高校・高専、高校入試の基本情報、手続きの仕方が掲載された冊子

②「**私学ナビ**」（北海道私立中学高等学校協会）

→道内の私立高校に特化した紹介冊子。各私立高校の紹介ページだけでなく、様々な情報が一覧表になったものが掲載されているので私立高校の比較がしやすいです。

どちらも昨年度のものが進路コーナーにあるので、興味があれば御覧ください。

なお、Q5の「道新受験情報」（北海道新聞社）、「高校ガイドブック」（道コン）は、最新号が発刊されたら各学年に1冊ずつ置く予定となっております。

昨年度の資料表紙

「道新受験情報」(北海道新聞社)



「北海道高校ガイドブック」 (北海道学力コンクール事務局)



「進路のしおり」 (札幌市中学校進路指導協議会)



「私学ナビ」 (北海道私立中学高等学校協会)



2. 奨学金制度について

奨学金制度とは、進学の意味があり、心身・学業ともに優れ、経済的困難を抱えている生徒に奨学金を貸し付けたり、給付したりする制度です。いくつかの公共団体や個人によって行われており、毎年、各機関から中学校に奨学生の予約募集の案内が届きます。「進路だより」では、中学校に届いた案内をもとに、概要をお知らせしていきます。**制度の利用を希望する場合は、その都度、進路担当（小笠原）にお伝えください。**募集要項や願書等をお渡しします。なお、機関によって出願（申込）時期や支給資金、利子の有無などが異なります。御注意ください。

交通遺児育英会 奨学金制度

第1次募集の申込期限は、令和8年8月31日（月）です。ホームページもありますので、そちらも御覧ください。
(<https://www.kotsuiji.com>)

2026 年度 あしなが高校（高等専門学校）奨学金

募集期間：2026 年 9 月 1 日から募集が開始する予定です。時期が近づきましたら、改めて詳細をお伝えします。

3. 「進路情報コーナー」について

水飲み場前に進路に関する資料を掲示・設置しています。

【4月27日までに掲示された上級学校（略称）】

神山まると高専、日大、川崎医科大学附属、苫小牧工業高専、旭川工業高専
星槎国際高校札幌北、北星女子



星槎国際高等学校 札幌北 教育関係者・保護者説明会「通信制高校のその先」

日 時：6月10日（水）16:30～17:30

対 象：保護者

申込締切：6月3日（水）

内 容：進路指導の取組について、卒業生講話

申込方法：右 QR コード から申込



保護者の皆様におかれましては、進路意識調査に関して御署名、御捺印だけでなく、知りたいことや悩み等を書いていただき、ありがとうございました。今後の情報提供の参考にさせていただくとともに、必要に応じて「進路だより」等でお答えしながら、御家庭と学校の両方からお子様をサポートしていければと思っております。御協力をよろしくお願いいたします。